

記

| グループ名   | ここから（こころ・からだ）セミナー   |   |  |  |  |  |
|---|---|---|--|--|--|--|
| 研究テーマ   | 障害のある児童生徒への性教育<br>～自分と他人の心とからだを大切にする～   |   |  |  |  |  |
| 分 野   | 特別支援教育<br>(対象校種) 小学校・中学校・特別支援学校<br>(対象教科) 保健体育・生活単元学習・日常生活の指導 他   |   |  |  |  |  |
| 研究のねらい  | 特別支援教育が必要な児童・生徒への性教育のあり方を学び合う。<br>①自分と他者の心とからだを大切にする気持ちを育てる<br>②子どもたちがよりわかる授業を組み立てるための教材開発をする               |   |  |  |  |  |
| 研究・活動の概要  |   |   |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校の特別支援学級、特別支援学校での、性教育の課題と実践例を持ち寄り、理念を学ぶ研修（事例学習・講演会）と、よりわかる授業づくりに向けての研修（教材作製・授業研究）を行った。</li> <li>・理念を学ぶ研修では、学童期からの計画的な指導が、自己肯定感を育み、高めるために大変有効であり、青年期の理解につながることを学んだ。</li> <li>・授業づくりに向けての研修では、心とからだのしくみをわかりやすく学ぶために、胎児の成長・出産・誕生の喜びは「科学的」な視点を取り入れ、個々の実態に応じた教材教具の工夫では、児童生徒が実際に「体験」できるような等身大のものを作製し、そのことで、性教育に自分から興味を示し自主的に学習できるように工夫し、改善を行った。</li> <li>・仙台市課題別研修支援事業の発表に向けて、報告書やプレゼンテーションの作成について、全員で協力し、取り組んだ。</li> </ul> |   |   |  |  |  |  |
| 成果と課題   |   |   |  |  |  |  |
| <p>特別支援教育が必要な児童生徒への性教育については、体験エプロン、子宮体験袋、お母さん人形、胎児人形、赤ちゃん人形などを使って「科学的に」学び、実物によって「体験的」に学習することで、どの児童も興味を持って「自主的に」授業に参加することができた。また、事前に保護者に性についてのアンケートや出産時のエピソードなどを確認することで、保護者も我が子の成長を再確認し、性に関する課題を教師と共にし、話し合う場を設けることができた。さらに、産まれてからこれまで愛され大切にされてきたということを認識させることで、自己肯定感を高めることができ、そのことが自分と他人のこころとからだを大切にする気持ちを育てる大きな原動力になることが確認できた。</p> <p>課題としては、発達段階に応じた系統性のある指導内容や評価などが挙げられる。今後も関わる大人の連携が不可欠であり、学び合うネットワークを通じて継続して取り組んで行きたい。</p>                                      |   |   |  |  |  |  |
| 構成員(12)名  |   |   |  |  |  |  |
| 氏 名   | 所属・職名   | 氏 名   | 所属・職名  |  |  |  |
| (代表)嶺岸 さゆり<br>檜山 理恵<br>大友 良重<br>永倉 美由紀<br>鈴木 良子<br>菅野 恵美  | 仙台市立鶴谷特別支援学校・教諭<br>仙台市立鶴谷特別支援学校・養教<br>仙台市立鶴谷特別支援学校・教諭<br>仙台市立鶴谷特別支援学校・教諭<br>仙台市立鶴谷特別支援学校・養教<br>仙台市立大和小学校・教諭 | 金子 文美子<br>溝渕 育子<br>小山 聰子<br>中村 仁美<br>我妻 洋子<br>神波 聰子 | 仙台市立南吉成小学校・教諭<br>仙台市立長町中学校・教諭<br>仙台市立郡山中学校・教諭<br>仙台市立栗生小学校・養教<br>仙台市立八木山中学校・講師<br>仙台市立鶴谷小学校・教諭 |  |  |  |